

# 表面・界面の分析方法とその応用

開催日：2025年 **3** 月 **25** 日 [火]

時間：13：20～16：00

会場：大阪産業技術研究所 和泉センター

(和泉市あゆみ野2丁目7番1号)

定員：30名(対面)

参加費  
無料

## 概要

近年、材料や製品が複雑化しており、金属と有機物など性質の異なる複数の材料で製品が作られているものが多くあります。特に、電池やコーティング、複合材料では、その異種材料の表面や界面は非常に複雑かつ高度化しています。ORISTには、表面や界面に関わる分析装置や機器を多数所有しており、お客様にはニーズに応じて多くの装置をご活用いただいています。

そこで、本セミナーでは、**無機材料や有機・高分子材料**、などの異なった材質を持つ材料の分析方法やその応用について焦点をあて、解説いたします。初心者を対象とした内容となっており、「表面・界面」、「分析」、「機能性」などのタームにピンときた方はぜひご参加ください。

## 内容

### 1. 13:20-14:00「表面・界面分析の基礎から応用まで－無機物を中心に」

金属表面処理研究部 主幹研究員 西村 崇

主に固体表面の分析に用いられる、X線光電子分光分析(XPS)、SEM-EDX、蛍光X線分析(XRF)を中心に、分析装置の原理・データの解釈・分析装置の選択方法について具体的な事例を交えて解説します。

### 2. 14:00-14:40「表面・界面の観察および分析の話」

高分子機能材料研究部 主任研究員 田中 剛

電子顕微鏡(FE-SEM)により表面および断面(界面)観察、紫外可視分光光度計により薄膜の分析、ラマン分光光度計により表面分析が可能です。ここでは、これら装置の原理を解説し、取得される観察や分析事例について紹介します。

(20分間 休憩)

### 3. 15:00-16:00「接着・粘着に関わる表面・界面の話」

高分子機能材料研究部 主幹研究員 舘 秀樹

接着剤や粘着テープの分析には、表面・界面の分析が重要となります。接着剤や粘着テープがどうしてくっつくのか、くっつける仕組み、その分析方法などについて解説します。

主催：地方独立行政法人大阪産業技術研究所

お申込み：メールで [izumi-entry@orist.jp](mailto:izumi-entry@orist.jp) 宛てにお申込みください。

件名を「表面・界面の分析方法とその応用 参加申込」とし、本文内に次の①～⑥の項目をご記載願います。(※返信にて受付をお知らせいたします。)

①参加者氏名 ②会社名 ③所在地 ④所属 ⑤電話番号 ⑥E-mail アドレス

お問合せ：大阪産業技術研究所 和泉センター 顧客サービス部 TEL：0725-51-2512